

## 史跡清戸迫横穴の現地確認について

平成24年1月17日に文化庁、福島県教育委員会、双葉町教育委員会により、福島第一原子力発電所から20キロ圏内(警戒区域)に所在する史跡「清戸迫横穴」内の壁画の保存環境等に関する現地確認を行った。

日 付 平成24年1月17日(木)  
場 所 史跡「清戸迫横穴」(福島県双葉郡双葉町)  
※福島第一原子力発電所から北西3.5km  
被派遣者 文化庁、福島県教育委員会、双葉町教育委員会の各担当(計3名)

(参考)

史跡「清戸迫横穴」(昭和43年5月11日指定)

古くから清戸迫丘陵にその存在が知られていた円墳・横穴群のうちの76号で、昭和42年に調査が行われた。76号は、南東を開口部とし、玄室の奥壁に赤色顔料で渦巻文(うずまきもん)を中心に冠または帽子をかぶった人物2人を配し、その左右に小さく乗馬の人物、弓を射る人、鹿、犬の動物を描いている。



清戸迫横穴 外観



清戸迫横穴 奥壁装飾の現状

(いずれも文化庁撮影)

